

外観



東京都心のベッドタウンとして発展してきた東村山市。東村山第6中学校は、「よく考え、自ら学ぶ」「思いやりの心で協力する」「体を鍛え、進んで実行する」という3つの教育目標を掲げている。

トイレ入口



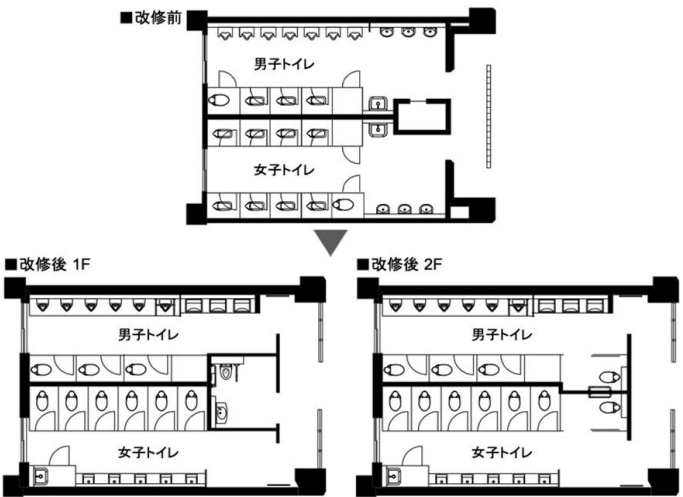
防犯性とプライバシーの両立を図るため、すりガラスを通してトイレの中の人々の気配を感じることができるようにしている。すりガラスの奥に(左)女子トイレサイン・(右)男子トイレサインを掲示している。

2F 男子トイレ 小便器・洗面コーナー



衛生面に配慮して、尿石抑制機能付きの自動洗浄小便器を採用。足元には、尿の飛散による、においや汚れを軽減するハイドロセラ・フロアを設置。洗面器には、非接触式の自動水栓を設置している。

トイレ図面



一般家庭のトイレ環境にあわせるため、和式便器中心であったトイレを、すべて洋式便器に変更。1Fに多機能トイレ、2F・3Fには、広めの大便器ブースを男女1ヶ所づつ設置している。

2F 男子トイレ 全体



ナチュラルカラーの木目調パネルを使用した温かみのある空間。清掃方法を乾式清掃に変更したことにより、タイル床の汚れ染みなどがなくなり衛生面が向上した。

2F 男子トイレ ひろびろブース



多機能トイレの機能を分散するために、1Fに多機能トイレ、2F・3Fのトイレには、ケガで松葉杖を使用する子どもたちへ配慮して、ひろびろブースを男女トイレに各1ヶ所設置している。

2F 男子トイレ 大便器ブース



大便器は、異物が詰まったときすぐに取り除くことができるように、掃除口付きのパブリックコンパクト便器を採用。

2F 女子トイレ 掃除流しブース



掃除流しブースに予備のトイレトーパーを保管。トイレトーパーは子どもたちが補充している。

2F 女子トイレ 全体



洗面コーナー横の壁には、身だしなみチェックのための全身鏡を設置。洗面カウンターは、洗面ボウルがコンパクトでボウル数を多く設置できる、ツインデッキボウル一体タイプ(奥行450mm)を採用している。

1F 多機能トイレ



1Fには車いす使用者に配慮して、はね上げ手すりとL型手すりを備えた多機能トイレを設置している。

建築概要

名 称	東村山市立東村山第六中学校
所 在 地	東村山市秋津町
施 主	東村山市
竣 工 年 月	(改修)2015年2月

水まわりの特長

＜改修の経緯＞
東村山第六中学校は1979年に開校。築35年が経過し、トイレの老朽化が進んだこともあり、トイレの改修を行った。

＜トイレの特長＞
トイレのコンセプトは「清潔感」と「使いやすさ」。ほとんどが和式便器だったトイレを、一般家庭のトイレ環境にあわせてすべて洋式便器に変更。小便器は、尿石の付着やにおいの発生を抑制することができる、ジアテクト機能付きの自動洗浄小便器を採用。足元には、尿の飛散による、においや汚れを軽減する、ハイドロセラ・フロアを設置。洗面器の水栓金具は、ノンタッチで水の出し止めができる自動水栓を設置するなど、清潔で衛生的なトイレ空間を維持しやすい器具が採用されている。トイレの清掃方法も乾式清掃に変更。業者による清掃以外に、生徒が交代で週2回、ペーパー補充・ゴミ拾いなどを行い、快適なトイレ空間を維持している。そのほか、ユニバーサルデザイン配慮として、1Fに多機能トイレを設置し、2F・3Fのトイレには、ケガで松葉杖を使用する子どもたちへの配慮などとして男女トイレに広めの大便器ブースを各1ヶ所設置している。トイレを利用された地域の方から「商業施設のトイレと同じようだね」という声が上がっている。